

こすずめ通信

2018年5月

医療法人社団 協友会 介護老人保健施設 ハートケア横浜小雀 〒244-0004 神奈川県横浜市戸塚区小雀町 2248-1

http://www.hc-kosuzume.jp/

FAX

TEL 045-852-8611(代) 045-852-8617

平成30年度 介護報酬改定

介護報酬は3年に1度、診療報酬(医療機関)は2年に1度、単位数(点数)の見直しが行われます。 平成 30 年は介護と医療の両方の見直しが行われました。地域包括ケアの構築を推進し、中重度の要介護者 も含め、高齢者が切れ目なくサービスを受けられる体制の整備が勧められました。また、質の高い介護 サービスを実現するための単位数が新設されました。当施設では、主に以下の点が変更となります。

入所サービス

基本サービス費

+3単位(1日)= +3円

在宅復帰支援機能加算 +7単位(1日)= +7円

新設)褥瘡マネジメント加算 +10単位(3ヶ月に一回)= +1

今後、在宅復帰強化型施設を目指し、 利用者様の退所支援を行って行きます。

ショートステイ

基本サービス費

+3単位(1日) = +3円

在宅復帰支援機能加算 +34単位(1日)= +36円

通所リハビリ

基本サービス費

在宅生活でのリハビリ強化や介護休養 を目的とした利用を勧めていきます。

ニーズに応じ、利用時間 10:00~14:10 で リハビリ、食事、入浴の中時間サービスを提供して いきます。

利用時間 10:00~16:10(6時間以上7時間未満) -64~105単位(1日) = -70~113円

※料金は目安です。詳細はお気軽にお問合せ下さい。





教えてケアマネジャー 在宅での介護

自宅での介護を考えています。自宅で受けられる 介護サービスって、どんなのがあるの?



年々、自宅で受けられる介護サービスの種類が多彩になっています。例えば・・・

●定期巡回・随時対応型訪問介護看護

定期的な巡回や随時の通報への対応など、24 時間 365 日必要なサービスを必要なタイミングで受けられます。ホームヘルパーだけでなく看護師なども連携しているため、介護と看護の一体的なサービスを受けることもできます。 ※要介護の方が対象のサービスです。

●小規模多機能型居宅介護

小規模な施設への「通い」を中心に、短期間の「宿泊」 や自宅への「訪問」を組み合わせたサービスです。 ケアプラン作成からサービス提供まで一つの事業所が行い ますので、馴染みのスタッフからサービスを受けられます。 ※要介護の方が対象のサービスです。 など・・・。文面だけではイメージが湧きにくいと思います。 ご要望に応じたサービスを、ケアマネジャーとご相談下さい。







通所デイケアでは、毎月色々な行事を企画しています。 今回はその中からいくつかを紹介します 2月は節分の豆まきイベントを行いました。

新聞紙を丸め鬼に向かって力いっぱい投げました。

おやつ作りでは、2月のバレンタイン。3月のホワイトデーに合わせて、チョコレートのデザートを作りました。





これからもさまざまな企画やイベントを用意して まいります。どうぞ、お楽しみに。皆様のお越しを お待ちしております。

ス/ードーム 作りました

イベント開催日への追加でのご利用 などは、お気軽にご相談下さい。 秋の 手作りおやつ

菖蒲湯の由来

菖蒲はその強い香りで病邪を払い天災を除く力があると 言われています。中国で古来から端午節に菖蒲を厄除けと して用いられてきたものが、奈良時代から平安時代ごろに 日本に伝わってきました。もともとは、軒先に吊るしたり、



枕に下に敷いたり、菖蒲酒にして飲んだりしていたそうです。菖蒲湯に入る習慣は江戸時代からといわれ端午の節句や武士の出陣前に武運長久を願って浸かったことが起源とも言われています。(菖蒲二勝負・尚武)菖蒲湯で使う菖蒲はサトイモ科の植物です。似たもので花菖蒲がありますが、こちらはアヤメ科の植物です。スーパー等で売られているものは葉の部分だけですが、実は根茎部分の方により鎮痛と血行促進の効能があるそうです。端午の節句の前後には当施設でも菖蒲湯を行いました。

ハートケア機族小雀、春の運動会

日程:平成30年5月20日(日)



~プログラム~ ・玉入れ ・輪っかリレー ・風船バレー

~タイムスケジュール~

3階 14:00~14:30

1階 15:30~16:00

2階 16:00~16:30



春の運動会 特別送迎バス運行について

平成30年5月20日(日)のみの運行となります

施設発 大船駅 施設着

- ① 12:40 ⇒13:00 ⇒13:20
- ② 13:40 ⇒14:00 ⇒14:20
- ③ 14:40 ⇒15:00 ⇒15:20
- ④ 16:40 ⇒17:00 ⇒17:20

新年度を迎えて

当施設は平成 12年3月に開設し、18年目を迎えました。時の流れは速く「平成」も30年が経ちました。「平成」という元号もあと2年、少子高齢化社会を迎え、介護人材の確保に厳しい現実が日々迫ってきております。数年来、「地域包括ケア」という用語を耳にされた方も多いのではないでしょうか。少子高齢化社会の中で、介護の必要な方々を地域で見守り、支えていく仕組みが模索されています。

当施設では、この地域包括ケアが推進される中で、訪問リハビリや通所リハビリサービスでの家庭に密着したリハビリの提供、一日でも長く地域で暮らせるよう集中したリハビリや介護体養を目的としたショートステイサービスの強化、入院後のリハビリや在宅復帰のための準備をお手伝いする入所サービス等々、介護を必要とされる方と介護をされる方、また訪れるかもしれない介護状態の予防に関する取組など、多様なニーズにお応えし、地域を支えて参ります。どのような事でも、お気軽にご相談下さい。

事務長 藤田 宏